一般社団法人 国連ユニタール協会

NEWS LETTER

第4号

2022.10.17

国連事務総長と若手活動家との核軍縮等に関する対話

8月6日、国連ユニタールは、国連軍縮部（UNODA）・国連広報センター（UNIC東京）・広島県／へいわ創造機構ひろしま（HOPe）と共催で、アントニオ・グテーレス国連事務総長と若手活動家が核軍縮・不拡散の課題や持続可能な世界を実現するための取り組みについて語り合う対話セッション「Power of Youth from Hiroshima」を開催しました。

事務総長は、核兵器廃絶や平和のための活動を精力的におこなっている若手活動家7名と、平和でより安全かつ持続可能な世界を実現するためになしうることなどについて語り合いました。国連ユニタール青少年大使ら中高生20名余りも傍聴し、多くのメディアにもご参加いただきました。当日の模様は、UN Web TV（英語）、国連ユニタールYouTube（英語）、国連ユニタール広島事務所YouTube（日本語）でも配信されました。

パネリストは、若者の声をより多くの人に届け、政治や社会の意思決定に参画しやすくなるよう、取組やアイデアを紹介したり、様々な提言を行ったりしました。事務総長は、若い世代への大きな期待と自由な発想への感謝とともに、あらゆる方法やネットワークを活用して自ら行動するよう訴えました。

同席した湯崎英彦広島県知事からの、取組への感謝と激励のあいさつがセッションを締めくくりました。詳しくは、国連ユニタールウェブサイトをご覧ください。セッションの模様はYouTubeでもご覧いただけます。

CONTENTS

P1 … 国連事務総長来広
P2 … ウクライナの人々への支援
P3 … 国連ユニタール青少年大使
P4 … スポーツと平和

国連ユニタール提供：
アントニオ・グテーレス国連事務総長

国連ユニタール
ウェブサイト

YouTube
チャンネル

国連ユニタール提供：Power of Youth from Hiroshima 出席者の皆様

Power of Youth from Hiroshima
パネリスト

- **倉光　静都香**
  #Leaders4Tomorrow（国連軍縮部Youth4Disarmament）
- **中島　渉**
  学生団体UNITE・2019年度ユニタール青少年大使
- **中村　涼香**
  KNOW NUKES TOKYO共同代表・デザイナー
- **鈴木　健斗**
  一般社団法人自分ごと化プロジェクト代表理事
- **奥野　華子**
  Fridays For Future Hiroshima設立者
- **浅野　英男**
  核兵器廃絶日本NGO連絡会事務局
- **メアリー・ポピオ**
  NPO法人PCV共同創業者

一般社団法人国連ユニタール協会事務局
〒730-0011　広島県広島市中区基町5-44 5階
https://www.unitar-a.jp/

TEL: 082-555-0816
FAX: 082-211-0511
メール：info@unitar-a.jp

緊急募金 ～広島からウクライナの人々へ ～

ウクライナでの人道危機と、多様な支援が求められる現状を目の当たりにし、当協会でも少しでも力になれるならと緊急募金キャンペーンを実施しました。4月中旬～5月末にかけて、30名の個人の方、5つの団体様より、80万円を超える寄付金が寄せられました。お寄せいただいた寄付金は、ウクライナからの難民を最も多く受け入れてポーランドを拠点に人道支援にあたっている国際NGO「Polish Humanitarian Action (PHA)」に送金し、同NGOのプロジェクト「SOS UKRAINE」に充てていただきました。改めまして皆さまからのお力添えに心より感謝申し上げます。

Designed by Htet Htet Naing

ウクライナの国境付近で支援にあたるPHAスタッフ ©PHA

音楽で支援を 原田真二氏とのチャリティイベント

ファンドレイジングキャンペーンに続き、7月8日には音楽を通じたチャリティイベントも開催しました。広島市出身のアーティスト原田真二氏にご賛同いただき、当協会として初めての試みとなりました。

110名を超える皆様にご参加いただき、現地の方々に想いをはせました。原田氏の美しい歌声が広島から響きわたり、36万円を超える収益を国際NGO「Polish Humanitarian Action (PHA)」に送金させていただくことができました。ウクライナでは危機的な状況が続いており、難民を受け入れている各地でも継続的な支援のあり方を模索しているようです。当協会でも引き続き状況を注視し、活動を続けていきたく思っております。温かいご支援を賜りましたこと、あらためて心より感謝申し上げます。

原田 真二 氏
広島市出身のアーティストとして、平和を訴えるコンサートを米国各地で開催。2013年にはニューヨーク国連本部・国際平和会議にて歌唱演奏し、平和を訴えた。現在は、全国各地でチャリティコンサートを通じ、ウクライナの支援活動を行っている。

Polish Humanitarian Action (PHA) とは

- 1992年創設(30周年)
- 事務局:ポーランド・ワルシャワ
- 食糧等の物資、安全な水の供給、教育など、2020年までに48か国の1,270万人に人道支援を提供
- ウクライナへは2014年から食料や衛生用品の提供等の支援を開始
- 危機に際し、SOS Ukraineプロジェクトにより支援を拡大
  - ウクライナからポーランドに逃れた人への支援
  - 食糧、毛布など物資の供給、専門家によるメンタルケアなど多様な支援を提供

PHAの支援の様子 ©PHA

一般社団法人国連ユニタール協会事務局
〒730-0011 広島県広島市中区基町5-44 5階
https://www.unitar-a.jp/
TEL: 082-555-0816
FAX: 082-211-0511
メール:info@unitar-a.jp

国連ユニタール広島青少年大使プログラム

2022年7月から約2か月間、今年度の国連ユニタール広島青少年大使プログラムを国連ユニタール持続可能な繁栄局・広島事務所との共催で実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響で過去2年間はオンラインで開催しておりましたが、12年目にあたる今年度は、対面とオンラインの両方の特長を取り入れたハイブリッド形式でプログラムを行うことができました。これまで高校生を対象としてきたプログラムですが、今年度は初めて中学3年生も対象とし、広島県内の中高生48名がともに学び合いました。

「自分たちが暮らす街を、SDGsのレンズを通して見つめることを通して、理想の街・自分にできる行動について考える」ことをテーマとしたプログラム。参加者は、学習アプリを使ったSDGs等に関する事前学習に臨み、ワークショップにも参加しました。9つのグループに分かれて広島市内を歩き、自分たちの目で見つけた街の良い点と課題をSDGsの目標と繋げながら、マップを作成。それぞれのテーマに沿って「理想の街」プランを作り、自分にできる行動と合わせて、グループごとに発表しました。

慶應義塾大学大学院の高木超特任助教をはじめ、様々な分野の専門家が指導に加わっています。株式会社良品計画の取組をお聞きしたほか、広島県平和推進プロジェクトチーム、国連ユニタール広島事務所からも講師をお招きしました。また、アジア太平洋地域の学生とのオンライン交流会もあり、同世代のリーダーたちと英語で語り合う機会もありました。。

最終日の8月21日には、各チームでそれぞれの「理想の街プラン」についての発表会を行いました。関係者や講師に加え、株式会社広島ドラゴンフライズ及び三菱地所レジデンス株式会社からも講評者をお招きし、評価やコメントをいただきました。

【青少年大使の声（一部抜粋）】

「SDGsについて正しいターゲットを学ぶだけでなく企業の取り組みなど知れてSDGsを多角的に詳しく知ることができました」

「英語は得意な方だと思っていましたが、いざ、本当にコミュニケーションツールとして使うとなると、思うように言葉が出てこなくてとても難しかったです。しかし、それを知るためのとても良い機会となりました」

「自分にはない発想を他の人は持っていて、いろんな意見をいろんな人から聞くのが楽しかった」

【講師より：株式会社良品計画営業本部広島事業部長　高弘　綾子様】

今回の講演では、良品計画が目指す未来についてお話させていただきました。この3年で大きく世界は変わり、人々の暮らし方に対する考え方も大きく変わりました。私もその中のひとりで、東京のような都会で生活するよりも、自分自身が生まれ育った地元で、その地域の役に立つ活動をしていきたいと強く感じ、広島に戻ってきました。今回の変化の中で、そのように感じている人は世の中にたくさんいると思います。それを行動に変えられるか、挑戦できるか、というのはこれからの社会で生活していく中でとても大切なマインドだと思います。私は1年前に東京から広島に戻ってきて、地域の空気感を感じながら、たくさんの生活者の方と話をし、地域を良くしようと活動している方たちの話を聞き、たくさんの気づきや知恵、そして何よりもその方たちと作り出す未来に対してのワクワクを感じながら活動をしています。

皆さんもいろんな立場や世代の方とどんどんお話をしていただきたいと思います。それにより自分自身の視野も広がり、未来に対しての可能性が感じられ、とてもワクワクすると思います。今回の私の講演がそのきっかけになっていればとても幸せだなぁと思っています。

一般社団法人国連ユニタール協会事務局
〒730-0011　広島県広島市中区基町5-44 5階
https://www.unitar-a.jp/
TEL: 082-555-0816
FAX: 082-211-0511
メール：info@unitar-a.jp

サッカー場から平和を：アンジュヴィオレ広島・広島市立大学・国連ユニタール協会　初の連携

2001年、9・11同時多発テロは世界を震撼させ、アフガニスタンではその後大きな変化が続きました。平和と自由を今一度思い起こすその日に、国連ユニタール協会は、アンジュヴィオレ広島（NPO法人広島横川スポーツ・カルチャークラブ）・広島市立大学と共催で、「誰もが自由にスポーツに取り組める世界」というビジョンの共有を通じて、平和のためにともに行動を起こす一助となるよう、折り鶴に思いをはせるイベントを開催しました。2022年9月11日、アンジュヴィオレ広島VS朝日インテック・ラブリッジ名古屋の試合において、選手からのメッセージを視聴できるQRコードなどを織り交ぜたチラシをサポーターや関係者に配布し、観客の方に折り鶴づくりにご参加いただきました。折り鶴は、広島平和記念公園（慰霊碑）に奉納される予定です。

2015年と2017年に、国連ユニタールの研修をに際して、アフガニスタン女子サッカーチームとアンジュヴィオレ広島との親善試合が開催されました。その後、公共の場では顔や身体を布で覆うことを義務付けられ、2021年9月からは、顔や身体を隠すことができないスポーツへの参加自体が許されなくなったアフガニスタンの女性たちの困難を知り、心を痛めておりました。また、国連ユニタール協会では2021年秋にファンドレイジングキャンペーンを展開し、今春関係先とともにアフガニスタンの女性を対象とした研修事業も展開しました。

ピースマッチメッセージ

渡谷選手からのピースマッチに向けたメッセージは、下のQRコードを読み取ってご視聴下さい。

メッセージQRコード

FW23　渡谷祥乃選手

10/22「開発と平和のためのスポーツ」オンラインセミナー

来る10月22日（土）、元アフガニスタン女子サッカー代表チーム副キャプテンで2015年に国連ユニタールの研修で広島を訪れた女性選手、大阪大学の岡田千あき准教授、アンジュヴィオレ広島の渡谷祥乃選手、国連ユニタール親善大使の為末大氏などを招いたオンラインセミナーを開催いたします（広島市立大学主催・アンジュヴィオレ広島共催）。お申し込みはお早めに！

「開発と平和のためのスポーツ：SDP」オンラインセミナー開催のお知らせ

日時：2022年10月22日（土）10:00～12:00　／　媒体：Zoom（オンライン）
主催：広島市立大学
共催：アンジュヴィオレ広島・国連ユニタール広島事務所・国連ユニタール協会
登壇者（予定）：為末大氏（国連ユニタール親善大使）・岡田千あき氏（大阪大学）・
渡谷祥乃選手（アンジュヴィオレ広島）・元アフガニスタン女子代表サッカーチーム選手
※登壇者は変更となる場合もございます。どうぞご了承下さい。
参加費：無料　<参加申込URL：https://forms.gle/bCSGZv1D78nxmFY29>

申込QRコード

お知らせ

《理事会》
- 2022年6月1日　2021年度財務諸表等、個人情報保護規程改定案、賛助会員退会届書式案を承認

《社員総会》
- 2022年6月7日　2021年度財務諸表等、個人情報保護規程改定案、賛助会員退会届書式案を承認

《賛助会員一覧》

OTAFUKU 小さな幸せを、地球の幸せに。
HTV 広島テレビ
毎日個別塾 5-Days ファイブ・デイズ
フリーコール 0120-935-472
受付時間：13:00～22:00（日祝除く・テスト期間中は開講）
東武トップツアーズ TOBU TOP TOURS
ひろしま管財株式会社
共栄美装株式会社 KYOUEIBISOU CO.,LTD.
tssテレビ新広島
ANA CROWNE PLAZA HIROSHIMA
医療法人順典会 手島医院
広島修道大学
eTAXI HIGASHI HIROSHIMA
ACT アクト中食
daiei CORPORATION
Senogawa Medical Corporation 医療法人せのがわ
浜脇整形外科病院 HAMAWAKI ORTHOPAEDIC HOSPITAL
母さんの味 ますやみそ
有限会社 ダイイチ企業 DAIICHI
テンパール

ご入会・ご寄付をご検討の方がおられましたら、お声掛けのほどよろしくお願いいたします。当協会のウェブサイトからお申込みできます↓

一般社団法人国連ユニタール協会事務局
〒730-0011　広島県広島市中区基町5-44 5階
https://www.unitar-a.jp/
TEL：082-555-0816
FAX：082-211-0511
メール：info@unitar-a.jp